



# 文化祭編 てふ五生！！！ ～終わらぬ激戦の日々～

～終わらぬ激戦の日々～



※持つべきものは(バラを折れる)友なり



## 『日本との違い』 驚いたこと

印象に残った  
仕事への姿勢  
ベトナム研修

海外で人、町、自然に触れ、高めた経験値



## ▲ベトナム墨東にて

**視野を広げる  
きつかけに**



◀ 集合[写真]

交流会では  
折り紙を

日本全国大会+○

競技コートが設置され、工夫と技術と操作性を競う熱い戦いが展開されま

◆ロボットの草場さん

今回、県の文化活動推進の費用を利用して山口県周南市までロボコンの全国大会の取材に行つた新聞部。しかし、それは午前五時半集合、始発で新幹線に乗り継ぎ、大会終了するや否や即戻つてくるかなりハートな日帰り取材でした。

他校の選手、OB(?) インタビュー

せつかくの全国大会。

他の選手に機体の工夫した点やロボコンの魅力を聞いてみました。

科学技術高校(福井)の野坂金央さんは「コント

ローラのボタン配置や、機体の動く速さなど、操縦艇のしやすさを重視して設計した。全国大会は自分たちでは思ひ付かないようなアイデアを見ることが楽しい」と、**水沢工業**

文化祭も終わり、次は観光通化での「技能まつり」。我々ロボット部門にて今年度最後の部にてとなります。度重なる出展となりますが、この部で披露されたものに加えてもう一つゲームを追加する予定です。世代交代した新体制ロボット研究会には是非成功して貰いたいと思います。マスター部のP.R.もします。トモトモ改良します。スマートに。

んは「できるだけ一度往來で複数のアイテム回収できる」。学校での機体練習を設計した。学校での動きが本番と違つたりするのが難しことところ。他校の優れた機体が動く様子を見ることがロボコンの魅力」と然が如夢如幻の言葉で、競うとともに同時に笑顔で語った。これまでの経験をもとに、今後は「より多くの人にロボコンを楽しんでほしい」と意気込めた。

話して いる途中で脈絡の「な い前は 何を 言いたい」といふの クラスマイトや友人に言 われる私です。この記事 を読んで見直しつづけたのは、益田

話して いる途中で脈絡の「な い前は 何を 言いたい」といふの クラスマイトや友人に言 われる私です。この記事 を読んで見直してく れたのは、益田さん

**後記** 寒さが厳しくなりました。私も防寒具は手放せません。一週間で登校する生徒をちらほら見かけた。次号は「ちようこうまつり」を掲載する予定です。

寒さが厳しくなりました。私も防寒具は手放せません。一週間後<sup>の</sup>期末テストに向けて、体調を崩さないように気をつけ過ぎてしまつたようです。次号は「ちようこうまつり」を掲載する予定です。

（本田）初めての海外で  
とても良い経験となつた」  
（山下）との感想がでてい  
ました。

# 長生きな☆日々 わかってください 脈絡のない話